令和５年度沖縄県スポーツ少年団軟式野球交流大会
北部ブロック大会　開催要項

１．主　　旨　　北部ブロックのスポーツ少年団員・指導者が軟式野球競技をとおして
　　団員相互の交流と連携を高めるために大会を開催する。

２．主　　催　　公益財団法人沖縄県スポーツ協会、沖縄県スポーツ少年団、沖縄県

３．後　　援　　沖縄県スポーツ少年団指導者協議会、沖縄県野球連盟

４．主　　管　　うるま市スポーツ少年団・野球連盟中部北支部学童部うるまブロック

５．期　　日　　令和５年５月７日（日）１３日（土）１４日（日）２０（土）

【開会式】　日　時：５月７日　午前８時００分集合・午前８時３０分～
　　場　所：石川野球場

６．会　　場　①石川野球場　②石川サブグラウンドＡＢ　③昆布公園　④具志川野球場
　　⑤与那城多種目　⑥与那城多目的　⑦勝連総合グラウンド　⑧南風原ふれあいパーク

７．参加資格　１）令和５年度スポーツ少年団登録団員、指導者であること。
　　２）単位団は、２名の日本スポーツ少年団指導者制度に基づく有資格者（認定育成員、認定員）であること。
　　（令和５年度に限り、スポ少指導者の資格を有することは必須としない。）
　　３）スポーツ安全保険に加入している者。
　　４）各チーム選手は小学生の団員２０名以内とする。また、団員は保護者の承諾を得た者とする。
　　５）参加は１単位団１チームの参加とする。

８．北部ブロック市町村（１３市町村）
　　うるま市・名護市・金武町・本部町・恩納村・今帰仁村・宜野座村・
　　国頭村・大宜味村・東村・伊是名村・伊江村・伊平屋村

９．競技規則　２０２３年度公認野球規則による。また全日本軟式野球連盟学童の部規則に準ずる。
　　スポーツ少年団軟式野球交流事業における投球数制限について
　　投球制限　※投手は「一日７０球以内」とする。　※完全実施（厳守・徹底）

＜参考＞
公益財団法人全日本軟式野球連盟　競技者必携
競技に関する連盟特別規則
8　投球制限【学童期】
投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1 人の投手は、1 日 70 球以内を投球できる。試合中に 70 球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。

10．申込み先　各市町村スポーツ少年団事務局へ申込書を提出して下さい。
　　各市町村スポーツ少年団担当者は、少年団登録及びスポーツ安全保険加入が完了しているか確認し、取りまとめて、下記へ提出して下さい。

〔うるま市スポーツ少年団事務局〕
〒904-2292
うるま市みどり町１丁目１番１号　うるま市経済産業部スポーツ課内（西棟１階）
電　話　098-923-7683　／　FAX　098-923-7627
Mail　sports-ka@city.uruma.lg.jp　　担当：日下（くさか）・兼城

11. 締切日　　**令和５年４月２０日（木）**
ＦＡＸ申込みの際は送信後に確認の電話をお願い致します。

12. 監督会議　　**令和５年４月２５日（火）　１９時～**
具志川運動公園管理事務所　会議室　（うるま市大田５１４）
※新型コロナウィルス感染拡大防止として、本部抽選とする場合もある。

13. 参 加 料　　各チーム　１，０００円とし、監督会議で徴収する。

14. 派遣資格　　１）派遣単位団（チーム）の選出は、他の大会において、県代表として派遣が決定している単位団（チーム）については派遣の対象外とする。（但し、大会参加は可能）
２）九州ブロ大会への派遣は、継続して２年以上登録している団に限る。
（過去１年登録していること。）
３）全国大会への派遣は、継続して４年以上登録している団に限る。
（過去３年継続して登録していること）

※令和５年度派遣地区　全国大会：北部ブロックより１チーム。
九州大会：中部ブロック、南部Ａブロックより各１チーム。

15. 表　　彰　　◎優勝・準優勝のチームには賞状とメダルを授与する。
◎三位の２チームには賞状を授与する。
◎選手宣誓賞を授与する。

16. その他注意事項
１）監督会議は原則参加とします。（離島についてはその限りでない）
２）各チーム、スポーツ少年団旗、プラカードを持参すること。
３）雨天時に確認が必要な場合には、各自で会場責任者へ連絡すること。
４）義務審判員としチームから２名派遣すること。
５）選手宣誓は、別途抽選とする。
６）申込みの際は、参加資格を証明できる書類の写しを添付すること。
７）試合は、６イニング（９０分）とする。
８）コールドゲームは、５回７点・日没、降雨コールド５回以降とする。
９）特別延長戦は継続打順でノーアウト１．２塁、８イニングまで行う。同点の場合は抽選とする。
10）特別継続試合を採用する。（雨天の場合）
11）捕手はファウルカップを着用させること。
12）ゴミなどは各チームで責任をもって持ち帰ること。
13）会場への忘れ物が無いように、各チームの監督は責任を持って確認すること。